

スマートホスピタル構想の一役を担い、外来業務のスマート化と患者スマホアプリの有効活用に寄与し、病院医療DXの促進を図る！

Point

Guest

◆導入背景を教えてください◆

大阪けいさつ病院は、新病院の開院を機に、「スマートホスピタル」への本格的な移行に踏み切りました。この取り組みでの主役は新しい機器や革新的なアプリでもなく主役は現場で働く職員にあるという考えのもと、メルス社には主に外来業務の医療DX化に期待をして、今回のシステム導入に挑んでもらいました。

◆導入前の課題は何がありましたか◆

- ・受付～診察/検査～会計までの患者様滞留と職員業務の停滞
- ・院内外を問わず、待合の状況を患者様に適切に伝える手段
- ・全部門セクションでの運用に合わせた番号表示による利便性の向上

●課題は解決しましたか●

- ・受付～診察/検査～会計までの番号表示は全てメルス社に担ってもらいましたが、今回一番力を入れたのは会計計算の自動化です。旧病院では診察が終わった患者様には会計窓口で都度受付をしてもらって、計算をスタートしていました。新病院ではメルス社に会計確認の仕組みを開発してもらい、「会計計算可能患者の自動見える化」で患者様の会計スルー化を実現しました。
- ・メルス社のシステムには「外来待ち状況連携プラットフォーム」となってもらい、「wellcne(ウェルコネ)」への検査の患者待ち状況を連携することにより、患者様がスマートフォンで全セクションの待ち状況の確認が出来るようになりました。
- ・新病院からは受付番号を1日1番号の統一番号としており、診察/放射線/生理/内視鏡/会計/入院支援相談室まで全画面を病院運用とシステムフローに合うようにカスタマイズしスムーズな患者誘導を可能にしました。



社会医療法人 大阪国際メディカル&サイエンスセンター

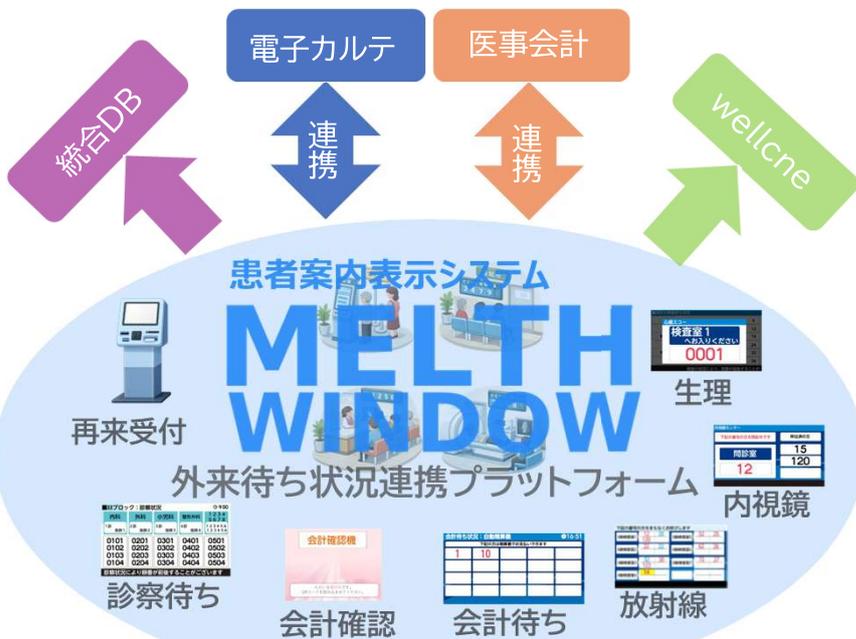
大阪けいさつ病院

法人事務局 医療情報部 次長  
病院事務部 医療情報部門 次長  
臨床医学研究所  
医療データ利活用推進部 研究員  
次世代医療AI研究部 研究員

山本 剛 氏

Configuration

Client Profile



所在地:大阪府大阪市天王寺区烏々辻2-6-40

開設 :昭和12年9月

理事長:澤 芳樹

病床数:650床(稼働率96.4%/2025年度4月-12月)

導入 :2025年1月(新病院開設)

▼新病院基本方針▼

“いのち輝くスマートホスピタルを実現する”

上記を掲げ、先進医療技術や情報通信技術を活用し、医療の質の高度化を図るとともに業務の効率化や患者サービスの向上をさせ、安全で安心な医療の情報提供を目指す。



## 1 セルフ会計確認機能の開発

計算開始タイミングの把握を患者の手を煩わさず、患者の会計スルー化を実現

全てのオーダーの依頼と実施データを突き合わせる仕組と患者様がセルフで今日の診療が完了した事を確認できる仕組を開発してもらいました。

結果、職員は計算可能患者を会計受付に患者が来なくても確認が出来るようになり、患者様は診療が終わって、会計に来た際には番号が表示されていて、そのままスルーで支払まで出来るようになり、総合病院の重大課題である長い待ち時間の短縮に寄与しています。



## 2 外来待ち状況連携プラットフォーム

患者番号案内ベンダーの一本化により患者待ち状況の連携をシームレスに



当院のスマートホスピタル化の一つの目玉である「wellcne」を患者様に有効活用してもらう為にメルス社の患者案内表示に外来待ち状況の連携プラットフォームとなってもらいました。結果、「wellcne」での各検査システムへの連携などを構築する必要なく、メルス社の患者案内表示への連携一本化を行う事により連携構築のための

余計な手間が省けて、効率的な導入を行う事が出来、患者様にはアプリを入れてもらうだけで各セクションの待ち状況が把握する仕組みを構築出来ました。



## 3 外来診療～会計ALL対応

病院運用を邪魔しない番号表示



よく簡単に「画面をカスタマイズします」という声を聞く事がありますが、そこには各システムとの連携仕様との兼ね合いがあったり「見えない制限」があります。メルス社はその部分も把握した上で提案を行ってくれるので信頼して、現場打合せ対応をお任せする事が出来、結果として各部門システムの操作と職員の業務運用にマッチした番号表示を提供していただけました。

## 4 大阪けいさつ病院のDX戦略

スマートホスピタルの  
現在と未来

スマートホスピタルを推進していくにあたって特に重視したのが「現場主導による開発」です。当院では20代・30代の若手職員を中心に「医療DXチーム」を立ち上げています。実際に業務を行うメンバーの声をもとに、アプリやワークフローの改善を進めています。現場主導で改善することによる効果は、業務の効率化だけでなく、職員のモチベーション向上にも繋がっており、これこそが、DXの本質だと考えています。また「共想と実証のフィールド」として当院を開放することが医療の質を守り、進化させていくために果たす使命の一つと考えています。メルス社にもこの考えに賛同いただき、新しい発明をしてもらえる事を期待しています。



From the sales person

この度はこのような大規模で意義のあるプロジェクトに参加させていただき、誠にありがとうございました。新病院のディスプレイ設置設計から運用検討まですべてに携わらせていただき、光栄に思っております。これからも外来業務のプロとして病院のDXを推進できるように日々探求を行っていき、医療業界に貢献できるように身を締めまいます。これからもよろしくお願いいたします。



株式会社メルス

大阪本社: 〒571-0038 大阪府門真市柳田町4-17

東京支店: 〒104-0054 東京都中央区勝どき3丁目12番1号

TEL: 06-7732-7053

TEL: 03-3533-2160



ホームページURL